

先日社内で入社3年目の技術職に講話をする機会がございました。テーマは「人の出会いと技術の習得」という事で私自身が、どのように先輩上司から技術を教わったかを紹介させて頂きました。入社以来4人の尊敬する上司がおります。今はもう社内にはおりませんが、今でも判断に迷ったときは、その4人の上司に頭の中で相談しヒントをもらっています。一部をご紹介します。

私は、平成元年1989年4月に入社し直ぐに「アサヒビール茨城工場新築工事」の現場に配属になりました。当時ビールといえばキリンビールで60%のシェアを占めた時代です。アサヒは、わずか10%でした。そのアサヒが1987年にスーパードライを発売し、爆発的に売れはじめ、一日でも早くドライを大量生産するという事で、建設された工場です。ビールの生産力では東洋一、世界では3番目に大きい工場でした。因みにこの工場の完成した10年後の2000年にシェア10%だったアサヒがキリンを抜くこととなります。この現場で出会った上司が、4人のうちの1人です。絵にかいたような江戸っ子で、仕事も遊びも全て教えて頂きました。私が今あるのは、この方のお蔭といっても過言ではございません。新入社員で何もわからなかった私に教えてくださった言葉の数々が今でも私の指針になっています。

◆現場マンは、「先を見る目と人を捌く力」

空間にどのように建物をつくっていくかという構想力、多くの作業員を集め如何に段取り良く作業をさせるかという統率力これが必要だという事です。

◆現場では、「即決」

作業員に聞かれたら即決しろ。自信がなかったら走って俺のところ来い。もし間違っても走って帰ってごめんなさいといえば、大勢に影響がない。

返事をしないと頼りにされなくなる。好かれる必要はないが、頼りにされる現場マンとなれ。

◆失敗したとき

いつも「高が知っている」と言ってくれました。この言葉が、ものすごく心強かったです。だから、チャレンジできました。

こうして、私は、この仕事をやっていく自信と楽しさが生まれました。その原動力は「いつかこのような上司になりたい」でした。

そのような方になりたくて技術を学びました。

今は、建設業も今年から、時間外労働の上限規制が適用されました。働き方改革、ワークライフバランスの充実等が求められる中、技術の伝承の在り方も変えていかなければなりません。我々が昼夜関係なく取り組んだプロジェクトXのようなやり方は、受け入れられません。どう教えれば良いのかその答えを見つけるのは難しいです。皆様是非、良きアドバイスを頂けましたら幸いです。

## いにしえスピーチ

伊田雄二郎

2009年6月5日入会

私とロータリーの係わりは今から55年ちょっと前の昭和40年代の前半です。小学生の低学年だった頃、父が会員だった東松山ロータリーのクリ

スマス例会に何度か連れて行かれました。会場はゴルフ場のクラブハウスでした。市街地でさえそんなに明るくない東松山なのに郊外のゴルフ場は、木々に覆われ真っ暗の中で会場に着くまでちょっと緊張したのを覚えています。ロータリーのクリスマス会は、



子供会のクリスマスと違い異様な光景でした。多くのおじさんとおじいさんが頭に三角の帽子を被り、志村けんが“ひげダンス”で使う付け髭を付けていました。そして呑んでいるお酒はクリスマスなのに日本酒で、大人からの私への質問は、大体同じで、名前は？何年生だ？これ食べるか？とウイナーを差し出してきました。とても私の想像するクリスマスではありませんでした。

中学3年の時に我が家にオーストラリアから青少年交換の男子がやって来ました。その前年に姉が留学生としてオーストラリアに行っていたので、ホストファミリーを引き受けました。サイモンと言う大人しい男子で、最初は無難に過ごせました。問題は高校2年の時に来た同じ年のドナコロシーという、髪の毛が長く背中まである、ブルックシールズ並みの美人でした。しかしながら、性格と行動は良く言えば天真爛漫、自由奔放。私はその時、我儘と天真爛漫は紙一重と言う事を彼女から学びました。

そんな予行練習を経て、33年後の2009年に大宮西ロータリークラブに内山さんから誘われ入会しました。そして5年後の2014年には第52代の会長を仰せつかりました。随分と早い出世ですが、私の入会時の会員数は40名強で歴史は47年経っていたので、しかるべき方は会長を経験済みでストックが無いと言うのが本場で、内山さんから「伊田さん誰も居ないんだよ。頼むよ」と泣き落しまがいの説得に「じゃしょうがない」と引受けた会長でした。幹事は新井清太さんが務めてくれて、随分と助けられました。

今思うのは、「ロータリーに入って良かったな」という想いです。それは、人として尊敬できる先輩と出会えたからです。現在ご存命の方の中にもそう言った方はいらっしゃいますが、誰を挙げて誰を挙げないと言うのは如何なものかと思しますので、在籍していない方から2人だけ上げさせて頂きます。一人目はご勇退された第18代会長の林正パスト会長です。我がクラブの重鎮で存在感ある方でしたが、決して威張らずいつもニコニコ微笑みを絶やさず、誰にでも分け隔てなく接する態度は、素晴らしい一言でした。二人目は残念ながら他界された、第28代の吉田暎治パスト会長です。やはり穏やかな人柄で、加えて嫌味の無いウイットに溢れる笑いのセンスは思わず周りの人に小さな幸せを運んでくれる感じでした。他にも挙げれば良い影響を与えてくれた先輩方は沢山おりますが、時間も有りますので今日のところは以上と致します。

私も今年65歳を迎えおじいさんの仲間入りなので、5大奉仕の外に自分なりに後輩方に良い影響を与えられる「人間奉仕」が出来ればこんな嬉しい事は無いと思っています。